



「聴く」ことを学んでみませんか？



～ファミリー子育て何でもダイヤル養成講座～

ファミリー子育て何でもダイヤルは1997年から開設しています。

子育ての不安や自身の悩みをかかえる方が安心して話せる電話で、毎週水曜10時30分～20時まで開設しています。「子どもの人権を守ることはおとなの人権も守る」そのことを主軸に相談者の気持ちに寄り添いながら、話を聴かせてもらっています。

新しいメンバーを募集しています。

3日間の講座を受けて私たちと一緒に活動しませんか？

日程		時間	内容	講師
4/23 (日)	①	13:00～ 14:20	子ども情報研究センターと子どもの権利について	田中 文子さん (子ども情報研究センター)
	②	14:30～ 15:50	聴くことについて	内山 洋子さん (子どもアドボカシーセンター-OSAKA)
5/13 (土)	③	13:00～ 14:20	多様な相談者について①	吉池 毅志さん (大阪人間科学大学)
	④	14:30～ 15:50	多様な相談者について②	吉池 毅志さん (大阪人間科学大学)
5/21 (日)	⑤	13:00～ 14:20	「聴く」ワーク①	ダイヤルスタッフ
	⑥	14:30～ 15:50	「聴く」ワーク② 今後の活動について	ダイヤルスタッフ

受講料 5,000円 (子ども情報研究センター 個人会員は3,000円)

会場 HRCビル4階研修室 (大阪市港区波除4丁目1番37号) 裏面地図参照

最寄り駅 OsakaMetro 中央線、もしくはJR「弁天町」

申し込み方法 メールにてお申し込みください。下記QRコードを読み込むとメールフォームが開きます。必要事項を明記し kenshu@kojoken.jp へ。

①名前 ②所属(会員の方はその旨明記ください)
③受講動機 ④ 連絡の取れる電話番号



申し込み締め切り 4月20日(木)

定員 20名

主催 公益社団法人子ども情報研究センター

お問い合わせは 06-4708-7087 kenshu@kojoken.jp まで

*活動をしていただくには、センターのミッションに賛同し、個人正会員になっていただきます。

ファミリー子育てなんでもダイヤルとは？

～電話をかけてくれたあなたと、ともに歩みたい～

子どものこと、家庭のこと、自分自身のこと、どんなことでも話せる電話です。研修を積んだ市民スタッフがあなたの声を聴きます。

親である「わたし」もその他の「わたし」も含めてまるごとの自分自身を大事にしたい。自分の人生を誰かに決めつけられたり、抑えつけられたりしたくはない。「わたし」の人生の主人公は「わたし」であることを認めてほしい、同時に、子どもや家族も自分の人生の主人公であってほしい。こうした自分への自信・納得は、自分を受け入れ、わからないとき、助けてほしいときに支えてくれる関係・つながりがあってはじめて湧いてくるものだと思います。「ファミリー子育て何でもダイヤル」はそんなつながりのひとつでありたいのです。電話をかけてきてくださる方々といっしょに考え、泣き、笑う関係を通して、受話器の向こう側で、少しほっとした気配、少し元気が出た気配が感じられると、私たちもほっとし、元気になれます。受話器の向こう側の人生にふれること、それは私たちにとっても大切な出会いであり、お互いの生活を切り拓いていく力になりあえたらと願っています。

最初のひとこと「はい、ファミリー子育て何でもダイヤルです」に、あなたとの出会いを大切にしたいという気持ちをこめて。

【広報用カード】

市民スタッフが子育て(支援)をサポート

- ・子育てや仕事で大変！どうしたらいいの？
- ・子どもの成長・発達、よその子と比べてしまう…
- ・パートナーとの関係について話したいけど…
- ・思春期の我が子、何を考えてるの？
- ・地域の親子にどう関わってあげればいいの？
- ・私の悩みでもいいのかな？

…など、何でもお電話ください

QRコード

(公社) 子ども情報研究センター
<http://www.kojoken.jp>

ファミリー子育て何でもダイヤル

小さな悩み、大きな悩み…
誰かに話すとすっきりするかも…。
あなたの声を待っています。

FREE 0120-928-238
06-6585-9287
きゅうにはなしたくなったら

毎週 水 曜日 10:30～20:00

【会場地図】

